

学校法人東京医科大学内部調査委員会『調査報告書』概要

【調査主体】

学校法人東京医科大学内部調査委員会（田辺総合法律事務所所属の弁護士3名）

【調査方法】

平成30年7月5日～8月6日までの間、委員会により前理事長・前学長を含む関係者からのヒアリング、電子データの確認、関係資料の精査、アンケートにより調査実施。（この調査は、多くの資料が押収されている中、1カ月間で行った第一報であり、本件の全容把握に向けては、資料を整えつつ第三者委員会を設置して追加調査を実施。）

【調査結果（主なもの）】

＜平成29年度ブランディング事業の事業計画書に対する助言・指導について＞

- ・臼井氏は、佐野氏から事業計画書に対する助言・指導を受けるべく、佐野氏及び谷口氏と会食するなどし、助言・指導を受けた可能性が高いようである。臼井氏は、助言・指導を仰ぐ過程で、佐野氏子息が平成29年度及び平成30年度東京医大入試を受験する予定であることを把握した。

＜平成30年度一般入試について＞

- ・一次試験の4科目の試験において、佐野氏子息以外に5名への加点（10点～49点／400点満点）が確認された。
- ・二次試験の小論文において、属性による得点調整が行われた。その手法は、まず、小論文の点数（満点100点）に、全員0.8の係数をかけ、そこに、受験生の属性に従い、次の加点を行うというものであった。
（①現役男子：20点、②1浪男子：20点、③2浪男子：20点、④3浪男子：10点、⑤4浪男子：0点、⑥女子：0点）
- ・その際、臼井氏は、ブランディング事業の事業計画書への助言・指導に対する恩返しとして、一次試験において佐野氏子息の得点に10点加算し、二次試験においては個別の得点調整はされなかった。（属性による点数調整は実施。）

＜過去の一般入試について＞

- ・平成8年より後のころ、入試の合否判定に関する教授会では受験生の得点を開示せず、教授会以前に開催される入試委員会において、入試委員同士で協議することで合格者の調整を行っていたようである。
- ・少なくとも平成18年度入試以降は、属性（現役か浪人か、男子か女子か）による得点調整が行われていたようである。
- ・平成29年度一般入試においては、13名への一次試験の素点への加算が確認された。

(8点～45点加算)

＜本件不正行為の原因＞

- ・ 臼井氏及び鈴木氏の規範意識の鈍麻
- ・ 東京医科大学におけるガバナンス体制の機能不全
- ・ 入試の採点方法
- ・ 同窓会からのプレッシャー

＜再発防止策＞

- ・ 理事長及び学長の適性
- ・ 理事会による監督の拡充
- ・ 内部監査の拡充
- ・ 監事による監査の拡充

『調査報告書』を受けた大学としての主な対応

- 第三者委員会を設置し、全容解明のために追加調査を実施。
- 女子・浪人生に対する一律の得点調整は根絶。過去の受験生への対応についても検討。
- 得点調整による合格者・不合格者への対応について、教授会において検討。
- 調査を進め再発防止策を検討し、「入試改善委員会」を設置し入学試験の改善に着手。
- 私立大学研究ブランディング事業の補助金については、自主返還を検討。
- ガバナンスの改善（理事会改革、理事長・学長の選出、大学全体の改革）。

事務連絡
平成30年8月10日

各医学部医学科を置く国公立大学学長 殿

文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室

医学部医学科の入学者選抜における公正確保等に係る緊急調査について（調査依頼）

このたび、文部科学省の幹部職員が大学入学者選抜に関し大学から便宜を受けたとして受託収賄容疑で逮捕・起訴され、行政の公正性に疑念を持たせる事態を生じさせたことは大変遺憾であり、文部科学省としても、この事態を厳粛に受け止め、捜査・公判等に全面的に協力しているところです。

本件に関連し、大学の医学部医学科の入学者選抜において、特定の受験者の試験結果や、受験者の性別・年齢に応じた試験結果への加点が行われていたという、極めて不適切と考えられる事態が判明いたしました。

大学入学者選抜については、「大学設置基準」や毎年度通知している「大学入学者選抜実施要項」において記載されているとおり、公正かつ妥当な方法により行うことが求められているところです。

つきましては、大学の医学部医学科（これに相当するものを含む。）の入学者選抜の実施体制や実施状況等についての緊急調査を実施することといたしましたので、御多用のところ恐縮ですが、貴大学におかれても御協力いただき、別添の調査票に記入の上、下記のとおり、御提出くださいますようお願いいたします。

御提出いただいた調査結果を踏まえ、当室より個別に問い合わせを行うほか、資料の提出や訪問調査への対応等をお願いする場合があります。また、平成31年度の入学者選抜についても、改めて調査を行うことを考えておりますので、あらかじめ御承知おきください。

なお、本調査の結果については、取りまとめて公表することを予定しておりますので、あわせて御承知おきください。

記

【提出方法】

別添調査票に記入の上、以下の提出先まで電子メールにて提出願います。

【提出期限】

平成30年8月24日（金）18時

【提出先及び連絡先】

文部科学省高等教育局大学振興課
大学入試室入試第二係
TEL：03-5253-4111（代表）内線 2495
E-Mail：gaknyusi@mext.go.jp

医学部医学科の入学者選抜における公正確保等に係る緊急調査

大学番号	国公私区分	所在都道府県
大学名	学部・学科等の名称	
担当者氏名	所属部署名	電話番号

1. 入学者選抜に関する学内規則・マニュアル等の整備状況について
※平成30年度入学者選抜実施時点の状況で記載してください。

(1) 入学者選抜に関する学内規則・マニュアル等を整備していますか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(2) 採点や合否判定の基準は、明確に定めていますか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(3) 採点や合否判定の際、受験者の氏名は匿名化されていますか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(4) 採点や合否判定の際、受験者の属性(性別、年齢等)はマスキングされていますか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(5) 不合格者等から入試成績の開示請求があった際には、開示していますか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

2. 各年度別の入学者選抜の実施結果

(1)各年度別の募集人員, 志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数(男女別・年齢別)

※調査票②に年度ごとに記入してください。

※「募集人員」の男女別・年齢別の数字は, 区分を設定している場合にのみ記載してください。

(2)実施結果に対する大学としての分析

①男性の合格率が女性の合格率を上回っている場合, その理由について大学としてどのように考えているかを年度ごとに記載してください。

<平成30年度>

--

<平成29年度>

--

<平成28年度>

--

<平成27年度>

--

<平成26年度>

--

<平成25年度>

--

②年齢ごとの合格率が年齢によって大きく乖離している場合, その理由について大学としてどのように考えているかを年度ごとに記載してください。

<平成30年度>

--

<平成29年度>

--

<平成28年度>

--

<平成27年度>

--

<平成26年度>

--

<平成25年度>

--

3. 入学者選抜の詳細な実施状況について

(1) 特定の受験者に対して、募集要項等での事前説明のない特別な加点等を行ったことはありましたか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(2) (1)において「はい」と答えた場合、いつ、どのような内容かを具体的に記入してください。

--

(3) 性別により合否判定に至る取扱いに差異を設けたことはありましたか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(4) (3)において「はい」と答えた場合、いつ、どのような内容かを具体的に記入してください。

--

(5) (3)で「はい」と答えた場合、性別による取扱いの差異について募集要項等で周知していましたか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(6) 年齢により合否判定に至る取扱いに差異を設けたことはありましたか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(7) (6)において「はい」と答えた場合、いつ、どのような内容かを具体的に記入してください。

--

(8) (6)で「はい」と答えた場合、年齢による取扱いの差異について募集要項等で周知していましたか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(9) 性別・年齢以外の受験者の属性により合否判定に至る取扱いに差異を設けたことはありましたか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(10) (9)において「はい」と答えた場合、いつ、どのような内容かを具体的に記入してください。

(11) (9)で「はい」と答えた場合、取扱いの差異について募集要項等で周知していましたか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(12) 上記の他に、募集要項や学内規程・マニュアル等に定めていない採点・合否判定の手続きを行うことはありましたか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(13) (12)で「はい」と答えた場合、いつ、どのような手続きで行ったかを具体的に記入してください。

(14) (1), (3), (6), (9), (12)で「いいえ」と答えた場合、募集要項や学内規程・マニュアル等に沿って、採点・合否判定の手続きが行われたことを示す資料(例えば、各受験者の試験結果と合否結果の一覧、教授会や合否判定会議の資料等)は、保存されていますか。

	一般入試	AO入試	推薦入試
はい			
いいえ			

(15) (14)において「はい」と答えた場合、どのような資料が、過去何年分、保存されているか具体的に記入してください。

